

知事への申し入れ

令和4年7月25日に、予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会から知事に対し、今後の「県政運営」等に関して申し入れを行いました。



予算決算常任委員会の申し入れ

1 人口減少対策への対応について

地域の自立的かつ持続的な活性化を実現するため、本県の強みや弱みなど地域特性を踏まえながら、三重県らしさを追求し、関係機関との連携のもと、「選ばれる三重」の実現に向けて、実効性のある対策を講じること。

2 財政運営について

歳出歳入両面からの事務事業の効果や必要性の観点から見直しを行い、経常的な支出の抑制、多様な歳入確保策の推進を図るなど、財政健全化の取組を行うこと。



県産材利用促進に関する条例検討会



令和元年度から令和2年度にかけて三重県産材利用促進に関する条例検討会の座長を務めさせていただきました。



環境保全、治山、森林業の活性化などの視点から、20回の検討会を開催し、「県産材」の利用を優先して促進すること等の規定を盛り込んだ「三重の木づかい条例」を令和3年4月に制定しました。

地域要望の進捗状況



名古屋川左岸の道路沈下に関しては年々護岸のブロックが倒れてきていることから、早急に整備するよう地元の皆様と共に要望を続けてきた結果、令和5年1月からの工事着工が実現しました。



国道368号線は、32年間にわたって工事を行っておりますが、全く先が見えませんでした。近年松阪市側での度重なる法面崩壊や、地元の強い要望により、工事のピッチを速め概ね10年後の開通を目指して事業を進めることになりました。



狭隘な県道蓮峡線は現道区間を迂回するバイパス整備を進めておりますが、9月の豪雨により法面が崩落しました。しかし、当初の計画通り令和6年度の開通を目指し工事を進めています。

